

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	物理療法学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	302 他
担 当 教 員	坂田 年彦	実務経験とその関連資格	理学療法士として医療機関に勤務経験あり。協会活動でスポーツ分野にも携わる。修士(人間科学)取得、日本物理療法学会などで発表経験あり。			
《授業科目における学習内容》						
物理特性を応用した治療法の原理と各種物理療法に対する生体反応を理解し、その適応を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
実習への取り組み(20%)筆記試験(80%)で評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
物理療法学 金原出版						
《授業外における学習方法》						
授業で行った実技の復習。実技を再経験したい場合には教員に申し出ること						
《履修に当たっての留意点》						
課題の提出期限遅れは加点しないものとする						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	物理療法の基礎、リスクマネジメントを理解し説明できる		教科書	教科書1～21ページを読んだ上で授業に臨む
		各コマにおける授業予定	物理療法総論			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	温熱療法の適応禁忌、実施方法を理解し説明できる		教科書	教科書の温熱療法関連の項目を読んだ上で授業に臨む
		各コマにおける授業予定	温熱療法各論			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	温熱療法を危険なく学生同士で実施できる		教科書 ホットパック パラフィン浴	前回の講義内容を復習
		各コマにおける授業予定	温熱療法実習			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	寒冷療法の適応禁忌、実施方法を理解し説明できる		教科書	教科書の寒冷療法関連の項目を読んだ上で授業に臨む
		各コマにおける授業予定	寒冷療法各論			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	寒冷療法を危険なく学生同士で実施できる		教科書 アイスバック クリッカー	前回の講義内容を復習
		各コマにおける授業予定	寒冷療法実習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	電気刺激療法の適応禁忌、実施方法を理解し説明できる	教科書	教科書の電気刺激療法関連の項目を読んだ上で授業に臨む
		各コマにおける授業予定	電気刺激療法各論		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	電磁波療法の適応禁忌、実施方法を理解し説明できる	教科書	教科書の電磁波療法関連の項目を読んだ上で授業に臨む
		各コマにおける授業予定	電磁波療法各論		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	電気刺激療法・電磁波療法を危険なく学生同士で実施できる	教科書 低周波治療器 マイクロ波治療器	第6回、第7回の講義内容を復習
		各コマにおける授業予定	電気刺激・電磁波療法実習		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	光線療法の適応禁忌、実施方法を理解し説明できる	教科書	教科書の光線療法関連の項目を読んだ上で授業に臨む
		各コマにおける授業予定	光線療法各論		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	超音波療法の適応禁忌、実施方法を理解し説明できる	教科書	教科書の超音波療法関連の項目を読んだ上で授業に臨む
		各コマにおける授業予定	超音波療法各論		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	光線療法・超音波療法を危険なく学生同士で実施できる	教科書 光線治療器 超音波治療器	第9回、第10回の講義内容を復習
		各コマにおける授業予定	光線・超音波療法各論		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	水治療法の適応禁忌、実施方法を理解し説明できる	教科書	教科書の水治療法関連の項目を読んだ上で授業に臨む
		各コマにおける授業予定	水治療法各論		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	水治療法を危険なく学生同士で実施できる	教科書 過流浴槽 気泡浴槽	前回の講義内容を復習
		各コマにおける授業予定	水治療法実習		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	牽引療法・マッサージ(徒手療法)の適応禁忌、実施方法を理解し説明できる	教科書	教科書の牽引療法・マッサージ関連の項目を読んだ上で授業に臨む
		各コマにおける授業予定	牽引療法・マッサージ各論		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	牽引療法・マッサージ(徒手療法)を危険なく学生同士で実施できる	教科書 牽引治療器	前回の講義内容を復習
		各コマにおける授業予定	牽引療法・マッサージ実習		